

プレー中に思わず失禁してしまった  
60代主婦の場合

主婦のAさんは、ご主人の定年後と一緒に始めたゴルフをいつも楽しみにしていません。60歳を過ぎたところから頻尿が気になっていました。が、ラウンド前やコース中でも必ずトイレに行くように心がけています。ところが先日、我慢できないほどの尿意に襲われ、間に合わずに漏らしてしまいました。ご主人と二人だけのラウンドとはいえ、恥ずかしく、落ち込んでしまいました。そんなAさんを見かねてご主人が病院へ行くように勧め、診察してもらったところ「過活動膀胱」と診断され、抗コリン薬という薬剤を処方されました。シングル越えを目前に頻尿に悩む50代男性の場合

近頃、頻尿に悩んでいませんか？  
通常、1日のトイレの回数は7回以下で、就寝後は1回もトイレのために起きないことが健康的といわれています。ところが日中に8回以上、夜中に何度もトイレに行くようであれば、それは「**過活動膀胱**」という病気かもしれません。

大好きなゴルフ。でも  
**頻尿で集中できない!**

治療を始め暫くすると症状は改善され、Aさんはご主人と仲むつまじくゴルフを楽しむ、Bさんも目標のシングルプレーヤーに向け練習に余念がないとのこと。  
このように「**過活動膀胱**」はお薬で多くの場合が改善されます。排尿のことはなかなか人には話しづらいのですが、年のせいと諦めるなん

急な尿意をもよおし近くのコンビニに駆け込みました。「そういう最近やけにトイレが近くて、夜中に何度もトイレに起きる。これって年のせい?」。そんな思いもゴルフ場に到着するとすぐに忘れ、いざラウンドへ。ところがプレー中もトイレが気になって集中できず、ボギーを連発。そんなことが何度か続き、思い切つて泌尿器科を受診すると「**前立腺肥大症**」が原因で「**過活動膀胱**」の症状が出たとのこと。α遮断薬と抗コリン薬を併用し治療を始めることになりました。  
**排尿の悩みは医師に相談を**

でもつたいない。男性の場合は前立腺が、女性の場合は骨盤底筋が原因となる場合もある。頻尿や我慢できない尿意を感じたら、まずは医師にご相談ください。問診と簡単な検査(必要に応じて詳しく調べる検査を行う場合もあります)により、あなたにあった治療法が見つかるはずですよ。

この記事を読んで、なんとなく思い当たる方は次のチェック項目を確認してみてください。一つ以上当てはまれば、過活動膀胱の可能性があらわれます。

- トイレに行く回数が多い
- 急にトイレに行きたくなつて、我慢が難しいことがある
- トイレまで我慢できずに漏らしてしまうことがある



ドクター紹介

安藤 俊夫先生

(医)さくら会 新札幌泌尿器科/江別泌尿器科 理事長  
URL: <http://www.sakurakai.or.jp>

